令和２年度
児童養護施設春光学園
事業報告書

社会福祉法人　春光学園

（目　　次）

１　児童養護施設春光学園の基本方針と事業計画 2
２　職員倫理綱領 5
３　組織図 6
４　春光学園在籍状況 7
５　里親支援専門相談員活動報告書 10
６　職業指導員活動報告書 13
７　諸会議・各委員会の開催状況 14
８　預り金管理状況 17
９　子どもの意見表明に関わる対応状況 17
１０　寮生活 18
１１　寮職員の役割分担 20
１２　学習支援 25
１３　キャリア・カウンセリング・プロジェクト（ＣＣＰ） 26
１４　ライフストーリーワーク 26
１５　年間行事の実施状況 27
１６　研修
（１）園内研修実施状況 39
（２）派遣研修実施状況 39
（３）評価 40
１７　ボランティア受け入れ状況 40
１８　実習生受け入れ状況 40
１９　食育、年間行事食及びリクエストメニュー実施状況 41
２０　各委員会の年間の取り組み
（１）食育委員会年間の取り組み 42
（２）性教育委員会年間の取り組み 43
（３）行事委員会年間の取り組み 45
（４）広報委員会年間の取り組み 47
２１　避難訓練実施状況 48
２２　第三者評価 49

１　児童養護施設春光学園の基本方針と事業計画

１　基本方針

（１）学園は、「独立自尊の心を培かい、『たのしく働く人になり、隣人を愛する人』たらしめることを目標とする」という創立者が謳った園誓の精神を尊重し、自立した人を育みます。

（２）学園は、社会的養護の一翼を担う児童養護施設として、要保護児童等の多様なニーズを積極的に受け止め、児童の権利擁護と最善の利益の確保に向けて、適切な運営とサービスの提供に努力します。

（３）子どもに対し、いかなる理由があっても体罰や暴言は行わず、被措置児童等虐待や子ども間の暴力を許さない安心・安全な施設づくりを目指します。

（４）子どもの意見表明権を尊重し、子どもの意向の把握に努め、施設運営に反映させていきます。

（５）サービスの提供にあたっては、様々な職種の職員が良く連携して、子どもと職員が「共に育つ」という視点に立って、子ども１人１人に対応した適切な支援に努めるとともに、児童相談所や学校等と連携して、家庭状況に応じた家庭環境の調整や家族関係調整（再統合）の取り組みを積極的に進めます。

（６）地域社会の一員としての自覚を持ち、地域社会との連携を積極的に図ります。

（７）学園を卒園する子どものリービングケアとアフターケアに努めていきます。

２　養育方針

学園の養育観を一致させて、子ども達の養育に取り組み、次のような子どもを育てます。

（１）人を見下さない・自分より弱い相手に対して思いやりを持てる子ども

（２）自分の意志や考えを持っている・自分の気持ちを素直に言葉で伝えられる子ども

（３）「ありがとう」（人への感謝）と「ごめんなさい」（人の痛みが分かる）が言える子ども

（４）挨拶ができる子ども

３　今年度の重点課題について

（１）運営体制

ア　社会的養育推進計画に基づき、小規模化かつ地域分散化に向けて、中・長期計画を検討します。

イ　家庭的養護の推進に対応する職員の人材確保と研修体制を強化して、人材育成と定着に努めます。

ウ　学童寮２階フロア―の運営の立て直しを今年度も引き続き継続します。

エ　職業指導員を中心に、高校卒業生の進路及び卒園生の職場定着のアフターケアに努めます。

オ　退所者が多くなったことで、入所促進に努めます。

カ　被措置児童等虐待を許さない安心・安全な施設づくりを進めるため、行動指針や養育方針を明確にして、職員間のコンセンサスを形成し、一致した方向性を持って子ども支

援に取り組みます。

キ　第三者評価を受審します。

（２）子ども支援

子ども間の暴力や被措置児童等虐待を許さない安心・安全な施設づくりを目指すため、定期的に子どものニーズの把握に努めます。

４　継続して取り組む課題

（１）子ども支援

ア　子ども達の基礎学力不足と学習に取り組む姿勢を養うため、１人１人に対応した個別学習支援に継続して取り組んでいきます。

イ　子ども達の自立を支援するため、北海道大学の井出智博准教授の協力の下、キャリアカウンセリングに継続して取り組んでいきます。

ウ　子ども達が現在や将来の自分自身の生活を前向きに捉えて生活して行くことを支援するため、ライフストーリーワーク（生い立ちの整理）に継続して取り組んでいきます。

（２）１人１人の子どもに対する組織的かつ専門的な援助の実現

ア　児童相談所等と連携して、個別の児童自立支援計画の充実に努めるため、自立支援計画検討会を計画的に開催します。

イ　子ども担当職員、寮主任、家庭支援専門相談員（ＦＳＷ）、職業指導員、里親支援専門相談員、心理士、看護師、副園長及び園長を中心として個別ケースについての園内カンファレンスを実施し、個別支援を行う上での情報と基本的な援助の方向性を共有するよう努め、スーパービジョン体制を強化していきます。

ウ　被虐待の子どもを中心にして、学校等や児童相談所とのネットワークミーティングを積極的に取り組み、情報共有と役割分担の明確化を図り、協働関係を進めていきます。

エ　児童相談所等と連携を図り、家族再統合や家族関係の調整のプログラムを設定して、計画的に取り組みます。

オ　看護師を中心として、子どもの健康管理に努めます。

カ　栄養士や調理職を中心にして、安全で栄養バランスのとれた食事を提供して行きます。

（３）子どもの意見表明権の尊重

ア　子どもヒアリングを年２回実施します。

イ　子どもアンケートは１月下旬に実施します。

ウ　意見箱の仕組みを活用して児童の意向や意見を把握し、適切に対応します。

エ　子ども会議活動の活性化等に努め、子どもの声を園運営に反映させます。

（４）園運営の課題の明確化と苦情解決を有効に機能させるため、第三者委員による外部の意見を積極的に求めることとします。

（５）職員の精神衛生と意向の反映

ア　新採用職員に対するフォローアップ研修（年３回）を実施します。

イ　職員の意向を確認するため、意向申告書と個別面接を実施します。

（６）職員参加の推進と組織的な運営を進めます。

ア　職員会議（月１回）と運営会議（月２回）を計画的に開催して、内容の活性化に努めます。

イ　職員の園運営への全員参加を目指して、「行事委員会」、「食育委員会」、「広報委員会」及び「性教育委員会」（月１回開催）を活性化していきます。

（８）関係機関との連携強化

ア　幼稚園及び学校との連携を計画的に取り組みます。

イ　横須賀市と三浦市の要保護児童対策地域協議会に積極的に参加します。

ウ　神奈川県社会福祉協議会、横須賀市社会福祉協議会及び衣笠社会福祉協議会の活動に参加して行きます。

（９）職員研修の強化と運営への反映

ア　職員の資質向上を図るため、各種委員会の開催日に、園内研修会を計画的（月１回）に開催します。

イ　人材育成の観点に立ち、職員１人１人に対応した研修プログラムを策定して計画的に取り組んでいきます。

ウ　学園内の職員の一体化を進めるため、寮間の交換研修を実施します。

(10) 広報活動の活性化について

ア　園情報を発信するため、ホームページを更新し、内容の充実に努めます。

イ　後援会ニュース「春のひかり」を年３回発行します。

(11) 預り金の管理

ア　私物金の管理の徹底に努めます。

イ　児童手当の管理の徹底に努めます。

(12) ボランティアの受け入れ

ボランティアを積極的に受け入れ、ボランティア懇談会を開催して運営に反映します。

５　職員体制について

（１）新規採用職員は４名で、男性職員２名、女性職員２名である。１名が事務局長、１名が事務職員、１名が保育士、１名が児童指導員である。

（２）幼児寮は幼児のみとし、職員数は７名体制とし、日中保育の非常勤を１名配置します。

（３）学童寮は２階フロアー７名、３階フロアー７名の計１４名を配置します。

（４）竹内保育士は、個別対応職員と位置付け、３階フロアーの勤務を主に、幼児寮の園内保育を従とする。なお、勤務時間は別途検討する。

（５）各寮の応援体制として、１階、２階、３階のフロアーの職員だけでなく事務室、給食の職員とともに一体的な運営を行います。

（６）令和２年度の職員体制は、常勤職員３６名、非常勤職員４名（含嘱託医）の４０名とし

ます。

６　措置児童定数と協定定員

（１）入所定員は６７名とします。

（２）協定定員は次の通りとします。

横須賀市	４０名
神奈川県	１２名
横 浜 市	１５名
合　　計	６７名

７　予定措置児童数

月間の平均在籍数は５８名とします。

２　春光学園職員倫理綱領

第１条　私たち職員は、子ども一人一人の人格と人権を尊重し、いかなる差別もしません。

第２条　私たち職員は、常に子どものプライバシーを保護し、秘密保持及び自由に意見表明ができる機会を保障するよう努めます。

第３条　私たち職員は、子どもの意向を把握し、子ども本人が選択し、決定したことについては、それを尊重して、常に対等な立場で誠実かつ謙虚に対応します。

第４条　私たち職員は、子どもの声に耳を傾け、悩んでいることなどを相談し易い雰囲気づくりに配慮し、援助を求められた時は、一緒に解決するよう努力します。

第５条　私たち職員は、子ども一人一人が意欲をもって過ごせるよう安心安全な施設を目指します。

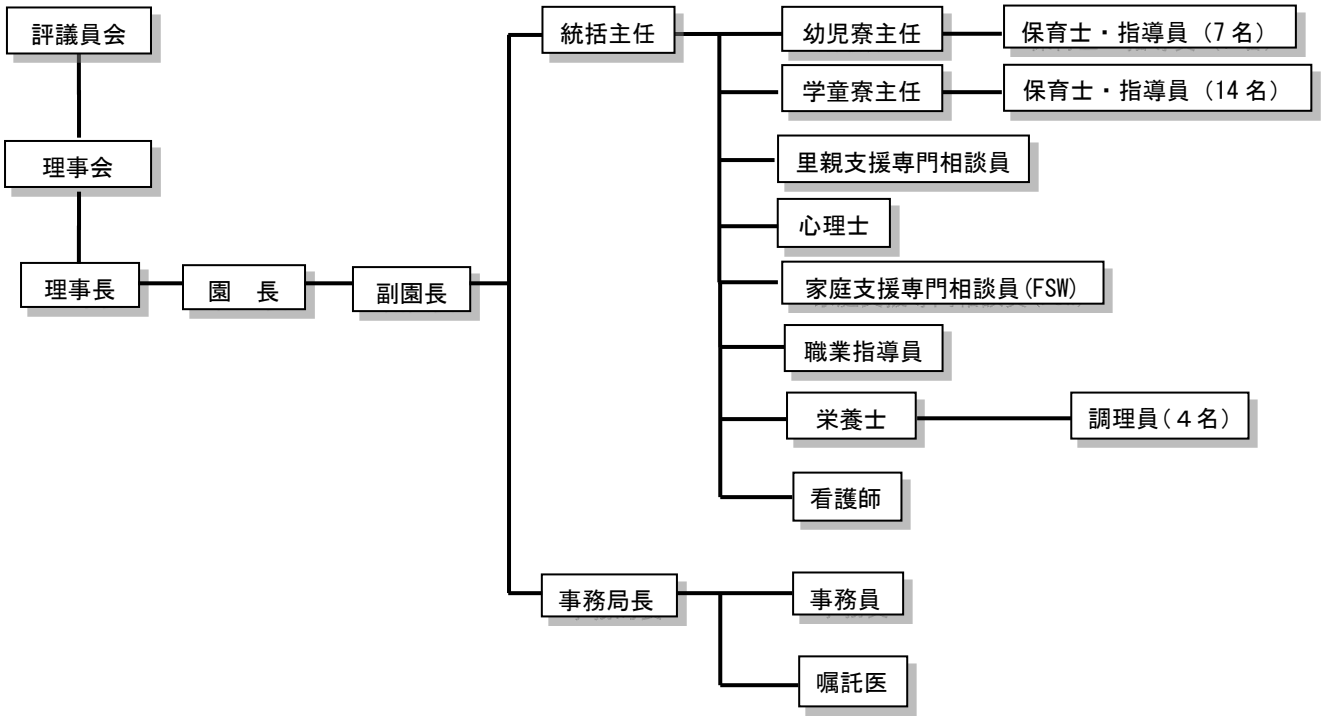
第６条　私たち職員は、子どもに対し懲戒に関わる権限の濫用はせず、いかなる理由があっても体罰や暴言は行わず、被措置児童等虐待についても、曖昧にしません。

第７条　私たち職員は、子ども一人一人に応じた適切な支援に努めるとともに、児童相談所等と連携して、家庭状況に応じた家庭環境調整や家族再統合の取り組みを進めるよう努めます。

第８条　　私たち職員は、自らの人間性や専門性を高めるため、常に研鑽に努めるとともに、望ましい社会人となるよう努めます。

第９条　　私たち職員は、地域社会の一員としての自覚を持ち、積極的に参加するよう努めます。

３　組織図



４　令和２年度児童養護施設春光学園在籍状況

令和３年３月末

１　児童入所状況

（１）児童相談所別措置状況

県　市　別	横須賀市	神奈川県	横 浜 市	計
定　員	４０名	１２名	１５名	６７名
男	１２名	３名	１名	１６名
女	９名	６名	１０名	２５名
計	２１名	９名	１１名	４１名

（※横浜市　２名の一時保護を含める）

（２）入退所状況

月　　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月
初日在籍	５２名	５２名	５２名	５２名	５２名	５１名	５２名	５２名
入　　所	３名	０名	０名	０名	０名	０名	１名	１名
退　　所	０名	０名	０名	０名	１名	０名	０名	２名
月末在籍	５２名	５２名	５２名	５２名	５１名	５１名	５２名	５１名

１２月	１月	２月	３月	計
５２名	５２名	５１名	５０名	
１名	０名	０名	０名	６名
０名	１名	１名	９名	１６名
５２名	５１名	５０名	４１名	

（３）学年別児童数

区分 性別	幼　児	小　　学　　生						
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	４名	１名	０名	１名	０名	１名	０名	３名
女	８名	１名	０名	１名	０名	０名	３名	５名
計	１２名	２名	０名	２名	０名	１名	４名	８名

中学生				高校生				総計
１年	２年	３年	計	１年	２年	３年	計	
２名	３名	１名	６名	０名	３名	０名	３名	１６名
３名	１名	２名	６名	３名	３名	０名	６名	２５名
５名	４名	３名	１２名	３名	６名	０名	９名	４１名

（４）通学状況

区分	学校名	男	女	計
幼児　１２名	園内保育	３名	２名	５名
	三和こども園	０名	１名	１名
	大楠幼稚園	１名	５名	６名
小学生　８名	衣笠小学校	３名	５名	８名
中学生　１２名	衣笠中学校	３名	２名	５名
	坂本中学校	２名	３名	５名
	大矢部中学校	１名	１名	２名
高校生　９名	県立逗葉高校	０名	２名	２名
	県立横須賀南高校	１名	０名	１名
	市立横須賀総合高校	１名	０名	１名
	三浦学苑高校	１名	１名	２名
	緑ヶ丘女子高校	０名	２名	２名
	横浜高校	０名	１名	１名
計　４１名		１６名	２５名	４１名

２　職員の就業状況

職種		施設長	副施設長	家庭支援	指導員・保育士		生活支援補助	事務	里親支援	看護師
定数		１名	１名	１名	２２名			１名	１名	１名
現員	常勤	１名	１名	１名	６名	１２名		２名	１名	１名
	非常勤						７名	２名		

職種		心理士	職業指導員	栄養士	調理員	嘱託医	計
定数		１名	１名	１名	４名	１名	３６名
現員	常勤	０名	１名	１名	４名		３１名
	非常勤				１名	１名	１１名

注１　副施設長は家庭支援専門相談員を兼ねる。

注２　指導員・保育士には、個別対応職員と国及び横須賀市の小規模グループケアーの加算職員を含む。

３　特記事項

（１）　定員

ア　定員６７名に対して年度末現員４１名である。入所率は６１．１９％である。

イ　横須賀市の定員が１名増で４０名になり、２１名入所している。

ウ　神奈川県の定員枠は変わらず１２名で、９名入所している。

エ　横浜市の定員が１名減で１５名となり、１１名入所している。姉弟ケースの幼児２名の入所があった。が、２月に親から施設入所不同意となり一時保護となった。児相の方で２８条申立てをしている。

オ　横須賀市枠の空床が１５名となっているが、幼児の入所依頼がきている。

（２）　子ども関係

ア　中３男児が、学園生活を拒否して平成３０年８月から一時保護していたが、昨年の１１月に他県に措置変更となった。

イ　中２男児が、平成３０年５月から統合失調症前駆で東横惠愛病院に入院。平成３１年４月から学園に復帰したが生活状況は非常に不安定。

ウ　中３男児と小６男児が、施設内暴力問題により昨年６月５日から一時保護をした。小６男児は、昨年１１月に児童自立支援施設に措置変更となった。中３男児は、この３月末で学園に復帰。

エ　小４男児が、他児からの暴言・暴力及び万引きの強要を受けて、親が入所同意を撤回して、昨年８月に措置解除となった

オ　もう１人小６男児が、情緒面で落ち着きがなく暴力問題を起こし、一時保護を繰り返してきたが、この１月に児童自立支援施設に措置変更となった。

カ　中１男児が問題行動にて昨年１１月から一時保護をしている。児童自立支援施設の措置変更を検討している。

キ　中３女児が問題行動にて昨年１２月から一時保護をしていたが、一時保護所から無断外泊中である。

ク　今年度、高校３年の卒業生が６人おり、全員の進路が確定し、卒園した。

ケ　３月末に家庭再統合による子どもが４人おり、退園した。

コ　新型コロナウイルスによる影響が、いろいろな形で噴出してきた。特に、昨年の緊急事態宣言から小学生、中学生が不登校傾向となっており、立て直し中である。

（３）　職員関係

ア　今年度の退職職員は、この３月に４人で、計５人となった。また、令和３年４月から産休の職員がいる。

イ　求人を募っているが、応募が少なくなかなか採用に至らない現状がある中、３人の職員採用が決定した。

（４）　その他

ア　新型コロナウイルスの感染拡大防止を徹底したため、誰も感染することもなく、１年間無事に乗り切った。引き続き、感染防止対策を継続していく。

５　里親支援専門相談員活動報告書

１．里親の新規開拓

・里親講座開催　横須賀市児童相談所主催、横須賀市里親会、しらかばベビーホーム
　春光学園共催（１回）

・里親講座の広報、案内配布

・里親希望者施設見学・実習　３組

・ボランティアファミリー希望者　施設見学・実習　１組

・里親度について問い合わせ　１回

・ボランティアファミリーについて相談　１回

２．里親候補者の週末里親等の調整

・3 日里親

　H・K 君（小 5）…Y 里親園内交流、近隣外出調整

　H・T 君（高２）…F 里親外出調整

　H・T 君（中２）…F 里親外出調整

・横須賀市ボランティアファミリー

　K さん　（小６）…Y ボランティアファミリー外出調整

　　3 日里親、ボランティアファミリー交流延べ９日間

３．里親への研修

・専門里親認定前実習　１名　4 日間

・里親認定前施設実習受入れ　５組９名　９日間

・里親認定前実習者への社会的養護を必要とする子ども達の特徴について説明

・さざなみサロンで「虐待を受けた子どもの特徴について」ミニ講義

４．里親委託の推進

・横須賀市里親委託推進連絡会　（３回）

・横須賀市児童相談所と施設職員との連絡会（4 回）

・里子の委託式参加　（３回）

・フレンドホーム利用に向けた児童相談所と施設のカンファレンス（1 回）

・3 日里親、ボランティアファミリー利用ケース、里親の不調ケースの自立支援検討会、カンファレンスに参加(４回)

５．里親家庭への訪問及び電話相談

家庭訪問	32 回 内容　学校不適応、不登校について 里親会活動について 衝動的な行動について 一時保護後のフォロー
電話・メール相談	427 回 内容　進路について 里子の言動について 子どもの特性について 発達の遅れについて 中学進学について ＬＳＷについて 自立にむけた取り組みについて 姉弟交流について 里親サロンについて
来園相談	28 回 内容　自立した里子について 3 日里親交流について LSW について 貸出図書について

６．レスパイトケアの調整

・レスパイトケア調整、N 里子 8/2～8/11 日一時保護

７．里親サロンの運営

・里親支援専門相談員主催さざなみサロン（６回）

・里母サロンに会場提供（1 回）

８．里親会活動への参加勧奨及び活動支援

・横須賀市里親会の事務局としての支援・協力

里親会総会文書審議書類作成・発送、理事会（年４回）の案内・資料作成・理事会出席（3 回開催、1 回中止）

里親会三役会会場提供（１回）、三役会参加（3 回）

横須賀市新規認定里親への里親会入会案内（2 回）

里親会レクリエーション参加とりまとめと関係団体との連絡調整、買い出し

ベース内教会クリスマス会プレゼント希望のとりまとめと連絡調整、プレゼントの配布
のたろんフェア参加・里親会と里親制度についての展示パネル作成協力
イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン上半期・下半期団体活動報告書作成と提出
イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンイオンスタイル下半期団体登録申請書作成と提出、久里浜イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈品受け取り、物品購入、ギフトカード利用記録用紙作成と提出
里親支援に関するアンケート、長期養育里親へのアンケート依頼の連絡調整とアンケート発送
全国里親会寄付物品の仕分け
里親会貸出図書の整理手伝い、貸出
機関紙「つくしんぼ」の折り込み・発送手伝い

９．アフターケアとしての相談

・大学卒業後の進路について、大学生の特別養子縁組児の相談、大学中退後の就労について
・就労状況について

１０．その他

・元里親と高校卒業のあいさつと今後についての話し合いと今後の関わり方について確認の会に同席
・里親支援専門相談員対象研修会（Zoom 研修）（1 回）
・養育里親更新研修への保育協力（1 回）
・神奈川フォスターケアサポートプロジェクト研修（Zoom 研修）（1 回）
・神奈川フォスターケアサポートプロジェクト高校生のための「自立のためのスクーリングプログラム」初回里子に同行
・全国里親会主催「第 2 回里親制度研修会」当日運営協力、研修参加
・里子のきょうだい交流に同席　（2 回）
・里子のアルバイト紹介、面接同行、調整
・しらかばベビーホーム里親支援専門相談員と情報交換
・次年度さざなみサロンの打ち合わせ

６　職業指導員活動報告書

１　対象児童

中学生	１２人
高校生	15 人
その他	17 人

２　活動状況概要

・中３（3 名）、高３（6 名）の進路の方向性を各学校、児童相談所等各関係機関と情報交換及び情報共有を実施。高３（6 名）は無事進路を決めることができた。中 3 男子 1 名は長期にわたり一時保護となったが、何とか、高校進学をすることができた。中 3 女子 1 名は無断外泊中で 3 月 31 日現在行方が分からない。

・アルバイトを奨励し、開始前の面接、履歴書の書き方等の助言を行った。

・地域行事への参加は新型コロナの影響で中止。ボランティア活動についてはライオンズクラブの清掃活動を通じ、社会貢献と学習を行った。

・北海道大学の井出准教授の協力の下、キャリアカウンセリングプロジェクトを実施。リモート等活用しながら将来の目標を考えることができた。

・あすなろサポートステーションと情報交換を実施した。

・ブリッジフォースマイル巣立ちプロジェクトへの参加はできなかった。来年はぜひ参加させたい。

・マイナンバーカードの申請と児童へ説明を行う。アルバイト実施にも必要なため、高校生年齢の児童には全員手続きを行った。

・自立後の生活シュミレーションとして一人暮らし体験の実施とを行い、安心して自立できるよう支援した。

・卒園児の生活の状況を把握し、相談、助言を行った。

・退所児童名簿の整理を行う。次年度も引き続き実施する。

・あすなろサポーター・職業指導員連絡会へ参加し、各施設との情報交換及び連携、意見交換を行った。

・身元保証人確保対策事業の実施。

３　児童の職業選択のための相談、助言、情報の提供等

・職員会議、寮舎会議、各カンファレンス等に出席し、職業指導、進路選択の相談助言。

・職業指導員連絡会への出席。

４　実習、講習等による職業指導

・キャリアカウンセリングプロジェクトの実施（年 8 回、11 名参加）。

・一人暮らし体験の実施と振り返り。

・家庭菜園と調理実習の実施。

・町内会運動会、防災訓練等～新型コロナの影響で中止。
・ライオンズクラブ清掃活動への参加（10 月）。

5　入所児童の就職の支援
・アルバイト開始に向けて、児童と面接。履歴書の書き方の指導実施。
・資格試験、講習の日程確認と提示。
・マイナンバーカードの申請と児童へ説明。
・生活指導費の確認指導。
・ブリッジフォースマイルへ継続支援計画について相談。
・こども医療センターにて医療コンサルテーションの実施と参加。
・助成金の手続き。
・賃貸契約、住所変更等のサポートと引越し等の支援。

6　退所児童のアフターケアとしての就労及び自立に関する相談援助
・卒園後の生活状況の確認と把握。
・オンライン授業の為のパソコン購入と設定。
・毎月１回面接の実施（生活状況と学校の確認、生活費受け渡し）。
・障害年金手続きの相談。
・卒園生名簿の作成。

7　諸会議・各委員会の開催状況

	開　催　日　時	主　な　議　題
運営	４月１５日（水）	・職員会議と運営会議の運営について
	４月２８日（火）	・職員会議の議題の調整について
	５月１３日（水）	・寮舎会議の報告と意見の集約について
	５月２７日（水）	・子どもの状況報告について
	６月１０日（水）	・職員の役割分担と園内各所責任者について（年度当初）
	６月２４日（水）	・心理関係について
	７月　３日（金）	・家庭支援専門相談員関係について
	７月１５日（水）	・里親関係について
	８月　４日（火）	・給食関係について
	８月３１日（月）	・職業指導員関係について
	９月　９日（水）	・医療関係について
	９月２５日（金）	・事務関係について
	１０月　６日（火）	・入退所児童の報告と調整について
	１０月２０日（火）	・園内カンファレンスの取り組みについて
	１１月１１日（水）	・各委員会について

会議	１１月２５日（水） １２月　２日（水） １２月１６日（水） １月１３日（水） １月２７日（水） ２月１２日（金） ２月２５日（木） ３月　４日（木） ３月１７日（水） 計　２４回開催	・職員研修（施設内及び施設外）について ・施設実習について ・指導監査について ・行事等の調整について ・文化体育行事について ・自立支援計画の策定について ・職員の健康診断について ・職員厚生事業について ・備品購入と改修について ・年度のまとめと反省について ・児童の問題行動について ・園庭使用について ・各ボランティアについての件 ・年度のまとめと反省について ・その他、学園運営に関する全般
職員・給食会議	４月１４日（火） ５月１２日（火） ６月　９日（火） ７月　２日（木） ９月　８日（火） １０月　５日（火） １１月１０日（火） １２月　１日（火） １月１２日（火） ２月　９日（火） ３月　２日（火） 計　１１回開催	・誕生月の職員紹介 ・事業計画について ・職員倫理綱領について ・学園の予算と決算について ・各規程について ・職員福利厚生事業について ・子どもの状況報告 ・職員の役割分担について ・各委員会からの報告について ・心理関係について ・里親関係について ・家庭支援専門相談員関係について ・医療関係について ・事務関係について ・神児研関係について ・各研修報告について ・衣料購入について ・児童レクリエーションについて ・児童ケース及びケース検討について ・学校パン注文及び弁当注文について ・園内・園外研修計画について ・児童預かり金管理について ・苦情解決について

職員・給食会議		・春休み及び評価について ・夏休み行事及び評価について ・冬休み及び評価について ・金銭出納関係について ・公用車使用について ・卒業・卒園式の実施について ・年間のまとめと反省について ・その他、学園業務に関する件
	給食会議は、職員会議の後半で実施している。 計　１１回開催	・日常的な給食に関わる要望や意見を交換する ・料理体験について ・料理教室について ・リクエストメニューについて ・食事アンケートの実施について
寮舎会議	寮舎会議は、職員会議・各種委員会開催日の終了後に開催される。 計　２３回開催	・運営会議に向けた意見等の集約について ・寮運営について ・子どもの援助に関するケース検討について ・寮務についての意見交換について ・行事等について

各委員会	４月２７日（月） ５月２６日（火） ６月２２日（月） ７月１４日（火） ８月２８日（金） ９月２３日（水） １０月１９日（月） １１月２４日（火） １２月１５日（火） １月２６日（火） ２月２４日（水） ３月１６日（火） 計　１２回開催	・行事委員会・性教育委員会・食育委員会・広報委員会に分かれ、全職員の参加で行う ・各月後半に実施 ・行事委員会は園内行事及び対外行事（含招待行事）の実施等について ・性教育委員会は、子どもの性教育に関係する件の計画と実施について ・食育委員会は、食育に関係する野菜栽培・食事マナー及び行事の実施及び計画について ・広報委員会は、後援会ニュース、園だより、写真関係について

８　預り金管理状況

（１）預り金の管理

預り金の管理については、「預り金管理要領」に基づき実施している。

（２）取り組み状況

「預り金管理要領」どおりの取り組みが毎月励行され、適正な管理がなされている。

職員にとっては事務上の負担感がかなり大きいので、見直しが必要とのことで、領収書及びレシートの添付で対応した。

９　子どもの意見表明に関わる対応状況

（１）苦情及び意見等の受理件数

ア　子ども	０件
イ　保護者	０件
ウ　学校の保護者	０件
エ　学校・幼稚園	０件
オ　近隣	１１件
カ　職員	０件
総　計	１１件

（２）苦情及び意見等の内容

ア　子ども関係	
（ア）子ども間のいじめ等のトラブル	０件
（イ）部屋割に対する要望	０件
（ウ）職員に対する不満、苦情及び要望	０件
（エ）食事に対する苦情	０件
（オ）学園のルールに関する要望	０件
（カ）携帯電話についての要望	０件
（キ）アルバイトについての要望	０件
（ク）その他	０件
イ　保護者	０件
ウ　学校の保護者	０件
エ　学校・幼稚園	０件
オ　近隣	１１件
カ　職員	０件

（３）第３者委員が関わったもの　０件

（４）対応及び処理

近隣からの苦情は、騒音によるものであった。園庭で子どもが遊んでいる際の声がうるさいといったものが殆どであった。緊急事態宣言発出のため近隣の方からの苦情が多かった。苦情が入るたびに園庭での子どもの遊び方を確認し、近隣からの苦情があったことを職員に伝え注意喚起を行った。

（５）子どもアンケート及びヒアリング実施による子どもの意向確認と対応

学園生活と職員に対する要望を把握するために個別面接を実施した。また、７月と１１月には子どもヒアリングを実施。子どもアンケートについては、１月に実施し、部屋割りと要望等について、出来る範囲で子どもの意向に対応し、令和３年度の運営体制に極力反映させた。

ヒアリング及びアンケート以外にも、出来るだけ子どもとの個別面接を実施し、子どもたちの意見表明と自己決定の尊重に努めていきたい。

（６）第三者委員による子ども面接（意見表明）について

２名の第三者委員による子どもの意見聴取を２月に行い、子どもの意見表明の機会を増やした。意見聴衆の結果について、職員会議に第三者委員から報告し、意見交換を行い、運営体制に反映させた。

１０　寮生活

（１）　幼児寮

担当職員	児　童　名
田口　明日香	
田中　順子	
大西　加奈子	
吉越　涼介	
古谷　恵太	
加藤　和磨	
松林　　愛	

（２）学童寮２階

担当職員	児　童　名
唐橋　貴仁	
前川　和範	
田原　博満	
岡田　我士	
林　　晟也	

藤田　健人	

（３）学童寮３階

担当職員	児　童　名
麦倉　智子	
船津　美香	
西高　紫野	
永尾　汐里	
井上　梓穂	
川見千奈津	
阿部　恵理奈	

１１　寮職員の役割分担

神奈川県文化体育協会

	全体責任者	
卓　　球	岡　田	永尾、藤田
野　　球	唐　橋	林(２階職員)
ソフトボール	西　高	川見（３階職員）
マラソン大会	井　上	田原、藤田
水泳大会	前　川	
あすなろ文集	西　高	大西、田原
児童福祉施設作品展	田　原	麦倉（松村）
あすなろ交歓会	井　上	古谷、吉越

学園自治会及び子ども会議

	全体責任者	
行事関係	松　村	行事委員
自治会	麦　倉	唐橋
子ども会議	麦　倉	唐橋

ボランティア関係

	連絡責任者	
教会	田　口	２F：林　３F：阿部
幼児寮ボランティア	田　口	
学童寮ボランティア	麦　倉	
学習ボランティア	近　藤	
習い事ボランティア		ピアノ～麦倉　　書道～麦倉
※　ボランティア窓口～七戸		

その他の役割分担

	責任者	
学園内　設備等全般及び購入	早　川	須山
公用車管理	松　村	
健康、身体測定、保健衛生環境等	小　林	幼児：田中　２Ｆ：田原　３Ｆ：永尾
医薬品購入・管理	小　林	幼児：田中　２Ｆ：林　３Ｆ：船津
検便	小　林	幼児：田中　２Ｆ：岡田　３Ｆ：船津
炊事連絡		２Ｆ：藤田　３Ｆ：船津
パン注文	船　津	
理容連絡・券管理（回収・支払い）	唐　橋	
美容連絡調整	麦　倉	

各寮　衣料購入	各寮主任、副	
各寮　日用品購入・管理	各寮主任、副	幼児：古谷　２Ｆ：前川　３Ｆ：川見
各寮　学用品管理	各寮主任、副	幼児：古谷　２Ｆ：唐橋　３Ｆ：井上
各寮　事務用品管理	各寮主任、副	幼児：古谷　２Ｆ：林　　３Ｆ：川見
パソコン関係管理	片　山	
寄付物品・管理・整理		幼児：松林　２Ｆ：林　　３Ｆ：麦倉
職員　行事進行係り	松　村	
行事関係管理（飾りつけ）		行事委員
掃除用具管理	松　村	
防災倉庫	松　村	
遊園地管理	松　村	
自転車管理・修理	松　村	幼児：松林　２Ｆ：前川　３Ｆ：永尾
５割切符	唐橋、麦倉	２Ｆ：唐橋　３Ｆ：井上
各寮　図書整理		幼児：田口　２Ｆ：林　　３Ｆ：川見
写真・カメラ・ビデオ等管理	西　高	２Ｆ：田原　３Ｆ：西高
園内作業用具類	松　村	
廃品	山　口	幼児：田口　２Ｆ：前川　３Ｆ：阿部
神児研	吉　越	
水道水質	原　澤	

学校、幼稚園連絡

	支払い担当	各寮連絡担当（プリント、行事・遠足等）
小学校	松村	１年　廣川　　支援級　井上 ３年　田原 ４年　西高 ５年　唐橋 ６年　永尾
衣笠中学校		１年　林 ２年　田原 ３年　船津
坂本中学校		１年　井上 ２年　前川
大矢部中学校		２年　林 ３年　川見
武山養護学校		各担当者
大楠幼稚園	田　口	年長：吉越　年中：加藤
三和こども園		大西（竹内）
各高校		各担当者

園内各場所責任者　（含　掃除・外倉庫）

１　階		
	幼児室（全体）	田口
	玄関・ホール	田中
	廊下	大西
	会議室	吉越
	医務・静養室	小林、古谷
	乾燥機室	加藤
	食堂	松林
	洗面所	田口
	炊事場	田中
	乾燥機室裏	山口
	園　庭（含坂道）	山口
	〃　（遊園地）	山口
	〃　（花壇）	山口
	園長室	園長

	相談室	野手
	心理室	近藤
	事務室	早川
	給食事務室	原澤
	職業指導員室	松村
	便所（男子）	早川
	便所（女子）	須山
	ダムウェーター	早川
	玄関前	七戸
	事務室裏	片山
	道路（含駐車場）	近藤
	実習生室	野手
	外　防災倉庫	松村
	外　緊急食庫	原澤
	外　幼児寮倉庫	
	外　物入れ	山口
	外　野球倉庫	唐橋
	外　ソフト倉庫	

2　階		
	事務室	唐橋
	当直室	前川
	明星ユニット　ダイニング	田原
	明星ユニット　トイレ	唐橋
	明星ユニット　風呂・洗面	前川
	明星ユニット　廊下	田原
	明星ユニット　居室	林
	春風ユニット　ダイニング	岡田
	春風ユニット　トイレ	岡田
	春風ユニット　風呂・洗面	藤田
	春風ユニット　廊下	廣川
	春風ユニット　居室	唐橋
	希望ユニット　ダイニング	林
	希望ユニット　トイレ	前川
	希望ユニット　風呂・洗面	田原

	希望ユニット　廊下	岡田
	希望ユニット　個室	林
	ダムウェーター	廣川
	ブルー階段	藤田
	倉庫	林
	ベランダ	藤田
	屋上　　幼児室上	廣川
	屋上　　食堂上	前川
	２Ｆ屋上　私物倉庫（２Ｆ用）	唐橋
	２Ｆ屋上　私物倉庫（３Ｆ用）	麦倉
	２Ｆ屋上　物入れ倉庫（行事等）	松村
	２Ｆ屋上　里親、他書類倉庫	野手
	２Ｆ屋上　幼児寮倉庫	松村

３　階		
	事務室	船津
	当直室	船津
	白梅ユニット　ダイニング	麦倉、井上
	白梅ユニット　トイレ	麦倉、井上
	白梅ユニット　風呂・洗面	麦倉、井上
	白梅ユニット　廊下	麦倉、井上
	白梅ユニット　居室	麦倉、井上
	土筆ユニット　ダイニング	永尾、川見
	土筆ユニット　トイレ	永尾、川見
	土筆ユニット　風呂・洗面	永尾、川見
	土筆ユニット　廊下	永尾、川見
	土筆ユニット　居室	永尾、川見
	竜胆ユニット　ダイニング	西高、阿部
	竜胆ユニット　トイレ	西高、阿部
	竜胆ユニット　風呂・洗面	西高、阿部
	竜胆ユニット　廊下	西高、阿部
	竜胆ユニット　個室	西高、阿部
	ダムウェーター	麦倉
	ベランダ	麦倉
	イエロー階段	麦倉

	倉　庫	麦倉
屋　上		船津

玄関前倉庫　～　山口

給食用倉庫　～　原澤

１２　学習支援の年間の取り組み

	男児	女児	計
幼児	1 名	8 名	9 名
小学生	7 名	6 名	13 名
中学生	5 名	5 名	10 名
高校生	0 名	2 名	2 名
合計	13 名	21 名	34 名

学園の子どもは自己肯定感が低く、学習への苦手意識が強いため、講師はひとりひとりの特性や精神状態に合わせて丁寧に根気強く関わって下さり、少しずつ挑戦して取り組むことができるようになりました。長い年月をかけて学習習慣が定着しましたが、今年度は新型コロナウィルス感染防止のため緊急事態宣言中は休止し、また感染対策として学園内で発熱者が出た場合は休みにしたため、安定した頻度での実施は難しかったです。今年度は 6 月から開始しましたが、休校で学習習慣や生活リズムが崩れたなかでの実施だったので、机に座って学習する姿勢にもっていくまでに時間がかかりました。講師は学園の状況や子どもの背景など理解しながら受容的に関わって下さり、徐々に学習習慣も戻りました。講師の受容的な態度から悩み相談をする子どもや講師との時間を楽しみにしている子どもがいます。学習支援では学力の向上に留まらず、子どもの成長にも大きく影響しています。

注 1）市の事業対象児は小学生・中学生のみのため、幼児・高校生の学習時間は春光学園後援会より支払っている。

注 2）学習に必要な参考書等は、春光基金（春光学園後援会寄附）より支払っている。

１３　キャリア・カウンセリング・プロジェクト（ＣＣＰ）

北海道大学大学院教育学研究院・井出智博准教授の協力を得て、年 8～10 回、自分の将来やおとなになることについて楽しく考える時間として、キャリア・カウンセリング・プロジェクト（CCP）を実施した（井出准教授は zoom を利用して遠隔参加 5 回・実参加 3 回）。今年度は中高生を中心とした 2 つのグループを構成し、以下の活動を行っている。

A グループ	B グループ
中学生・高校生　5 人	中学生・高校生　6 人

	日程	A グループ　19:00～19:45	B グループ　19:45～20:45
1	6/26(金)	おとなはどうやっておとなになったのか（学童寮職員）【合同】	
2	7/17(金)	いろいろな人生（社会人 ver.）	いろいろな人生（社会人 ver.）
3	9/18(金)	大切にしたい価値観	大切にしたい価値観
4	10/23(金)	モノの値段・生活の値段クイズ 宿題:家探し	モノの値段・生活の値段クイズ 宿題:家探し
5	11/23(月)	10:00～12:00　2 ヵ月人生体験ゲーム	
6	12/18(金)	興味のある仕事を知ろう －13 歳のハローワーク－	理想のお部屋のお値段 家具・家電・調度品を好きなように揃えると…？
7	1/8(金)	人生設計	人生設計
8	2/26(金)	1 年の振り返りとまとめ【合同】	

１４　ライフストーリーワーク（LSW・生い立ちの整理）

令和 2 年度は計 4 名の在籍児童に対し、施設への入所理由や保護者の現在の生活の様子、今後の施設生活の見通し等を伝えるライフ・ストーリー・ワーク（以下、LSW）を実施した。対象者の年齢は幼稚園年少～年長であり、それぞれの理解レベルに合わせた簡単な絵本等の視覚的資料を準備し、説明をする回と事後フォローする回を設定するなど、丁寧な対応を心掛けた。

なお、令和 3 年 4 月 1 日時点で在籍する児童 43 名のうち、これまで 22 名に個別の LSW を実施している（他、高年齢での入所のため、自分の入所経過や家族の状況等を把握している児童は 8 名いる）。

保護者が 主体となって実施	保護者不在のため 児相･施設が主体となって実施	保護者はいるが 児相･施設が主体となって実施
0 名	0 名	4 名

注１）必要な費用は、春光基金（春光学園後援会寄付）により支払っている。

１５　年間行事の実施状況

４月　　行事報告

令和２年度

1	水	新年度　　辞令交付　　煌蘭食事会招待
2	木	日本水産（株）お祝い食事会招待
3	金	
4	土	三和こども園入園式
5	日	
6	月	各校始業式　　衣小・衣中・横浜高校入学式
7	火	
8	水	大楠幼稚園始業式・入園式　　緑ヶ丘女子高校入学式
9	木	
１０	金	
１１	土	
１２	日	
１３	月	
１４	火	職員・給食会議
１５	水	運営会議
１６	木	
１７	金	
１８	土	
１９	日	
２０	月	
２１	火	
２２	水	
２３	木	リクエストメニュー（４月誕生者会）
２４	金	
２５	土	
２６	日	
２７	月	各種委員会
２８	火	運営会議
２９	水	昭和の日
３０	木	

５月　　行事報告

令和２年度

１	金	
２	土	
３	日	憲法記念日
４	月	みどりの日
５	火	こどもの日
６	水	振替休日
７	木	後援会監事監査
８	金	後援会三役会
９	土	
１０	日	母の日
１１	月	
１２	火	職員・給食会議
１３	水	運営会議
１４	木	法人事務局会議
１５	金	
１６	土	
１７	日	
１８	月	
１９	火	
２０	水	法人監事監査
２１	木	リクエストメニュー
２２	金	
２３	土	
２４	日	
２５	月	
２６	火	各種委員会
２７	水	運営会議
２８	木	法人理事会
２９	金	
３０	土	
３１	日	

６月　　行事報告

令和２年度

１	月	
２	火	
３	水	
４	木	
５	金	
６	土	
７	日	
８	月	
９	火	職員・給食会議
１０	水	運営会議
１１	木	
１２	金	
１３	土	
１４	日	
１５	月	
１６	火	
１７	水	歯科検診（幼児）
１８	木	評議員会
１９	金	
２０	土	
２１	日	父の日
２２	月	施設内研修・各種委員会
２３	火	
２４	水	運営会議
２５	木	リクエストメニュー（６月誕生者会）
２６	金	
２７	土	紙芝居ボランティア
２８	日	
２９	月	
３０	火	

７月　　行事報告

令和２年度

１	水	
２	木	神児研運営委員会　　職員・給食・寮舎会議
３	金	運営会議
４	土	
５	日	
６	月	
７	火	七夕　　施設長会議
８	水	
９	木	
１０	金	
１１	土	
１２	日	
１３	月	
１４	火	施設内研修　　各種委員会
１５	水	運営会議
１６	木	リクエストメニュー
１７	金	大楠幼稚園終了　　キャリアカウンセリング
１８	土	
１９	日	
２０	月	
２１	火	
２２	水	
２３	木	海の日
２４	金	スポーツの日
２５	土	
２６	日	
２７	月	
２８	火	
２９	水	
３０	木	
３１	金	

８月　　行事報告

令和２年度

１	土	
２	日	
３	月	
４	火	運営会議
５	水	
６	木	夏休み
７	金	
８	土	
９	日	
１０	月	山の日
１１	火	
１２	水	
１３	木	
１４	金	学園法要
１５	土	旧盆
１６	日	
１７	月	
１８	火	衣小・各中学校授業開始
１９	水	
２０	木	
２１	金	
２２	土	
２３	日	
２４	月	
２５	火	
２６	水	
２７	木	リクエストメニュー
２８	金	各種委員会　　衣小との連絡会
２９	土	
３０	日	
３１	月	衣小給食開始　　運営会議

９月　　行事報告

令和２年度

１	火	
２	水	あすなろ交歓会舞台全体説明会
３	木	大楠幼稚園２学期開始
４	金	施設長会議
５	土	
６	日	
７	月	職業指導員連絡会
８	火	職員・給食会議
９	水	運営会議
１０	木	
１１	金	神児研運営委員会（中止）　　衣笠地区社協青少年育成部会
１２	土	
１３	日	プロレス招待
１４	月	
１５	火	
１６	水	春光学園壁画展示（衣笠行政センター地下道）
１７	木	
１８	金	キャリアカウンセリング　　三和こども園運動会
１９	土	坂中・大矢部中体育祭
２０	日	
２１	月	敬老の日
２２	火	秋分の日
２３	水	施設内研修　　各種委員会
２４	木	リクエストメニュー　　第三者評価訪問ヒアリング
２５	金	運営会議
２６	土	
２７	日	
２８	月	
２９	火	指導監査（横須賀市）　　衣中体育祭
３０	水	

１０月　　行事報告

令和２年度

１	木	こども医療Ｃコンサルテーション
２	金	
３	土	
４	日	横須賀中央ライオンズクラブ清掃ボランティア
５	月	職員・給食・寮舎会議
６	火	運営会議
７	水	施設長会議
８	木	
９	金	各校前期終了
１０	土	
１１	日	
１２	月	各校後期開始
１３	火	
１４	水	
１５	木	食堂抗菌コーティング
１６	金	
１７	土	大楠幼稚園運動会　　福祉のしごとフェア
１８	日	
１９	月	施設内研修　　各種委員会
２０	火	運営会議
２１	水	
２２	木	リクエストメニュー
２３	金	
２４	土	
２５	日	
２６	月	
２７	火	
２８	水	
２９	木	児童健康診断　インフルエンザ予防接種（１回目）
３０	金	
３１	土	衣小運動会

１１月　　行事報告

令和２年度

１	日	
２	月	
３	火	文化の日
４	水	
５	木	
６	金	
７	土	立冬
８	日	
９	月	
１０	火	職員・給食・寮舎会議
１１	水	運営会議
１２	木	
１３	金	学園七五三
１４	土	
１５	日	七五三
１６	月	
１７	火	法人理事会
１８	水	
１９	木	リクエストメニュー
２０	金	
２１	土	
２２	日	
２３	月	勤労感謝の日　　プロレス招待　　キャリアカウンセリング
２４	火	施設内研修　　各種委員会
２５	水	運営会議
２６	木	児童健診　　インフルエンザ予防接種（２回目）
２７	金	
２８	土	人形劇団ムーブ訪問
２９	日	
３０	月	

１２月　　行事報告

令和２年度

１	火	職員・給食・寮舎会議
２	水	運営会議
３	木	
４	金	施設長会議
５	土	
６	日	ライジング・サンＸ‘ｍａｓ寄付
７	月	
８	火	
９	水	
１０	木	平川商事Ｘ‘ｍａｓ寄付
１１	金	
１２	土	プロレスＸ‘ｍａｓ招待
１３	日	
１４	月	
１５	火	園内研修　各種委員会
１６	水	運営会議
１７	木	リクエストメニュー
１８	金	浦氏（ＮＰＯ）クリスマスケーキ寄付
１９	土	ワールドメイトＸ‘ｍａｓ訪問　　ベースＤＬＡクリスマス寄付
２０	日	
２１	月	冬至
２２	火	ベースＦＬＣＹクリスマス訪問
２３	水	大楠幼稚園終了　　ベースＮＡＶＦＡＣＦＥクリスマス訪問
２４	木	学園クリスマス会
２５	金	各校授業終了　　クリスマス
２６	土	冬休み
２７	日	↓
２８	月	↓
２９	火	↓
３０	水	
３１	木	大晦日

１月　　行事報告

令和２年度

1	金	元旦　　冬休み　　帰　省
2	土	冬休みレクリエーション
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	県内中堅研修
7	木	衣小・各中学校授業開始　各校３学期始業式 ↓
8	金	衣小給食開始　　キャリアカウンセリング ※緊急事態宣言
9	土	
１０	日	
１１	月	成人の日
１２	火	大楠幼稚園開始　　職員・給食会議
１３	水	運営会議
１４	木	
１５	金	
１６	土	
１７	日	
１８	月	
１９	火	
２０	水	
２１	木	リクエストメニュー
２２	金	
２３	土	
２４	日	
２５	月	
２６	火	各種委員会
２７	水	運営会議
２８	木	
２９	金	
３０	土	
３１	日	

２月　　行事報告

令和２年度

１	月	
２	火	節分
３	水	立春
４	木	
５	金	
６	土	児童福祉施設作品展　　＊第三者委員「子ども面接」
７	日	
８	月	
９	火	職員・給食会議
１０	水	
１１	木	建国記念の日
１２	金	運営会議
１３	土	
１４	日	聖バレンタインデー
１５	月	市制記念日　　公立高校入試
１６	火	
１７	水	
１８	木	リクエストメニュー
１９	金	「福祉のしごとフェア」
２０	土	
２１	日	＊第三者委員「子ども面接」
２２	月	
２３	火	天皇誕生日
２４	水	施設内研修　　各種委員会
２５	木	運営会議
２６	金	キャリアカウンセリング
２７	土	
２８	日	

３月　　行事報告

令和２年度

１	月	公立高校合格発表
２	火	県工卒業式　　職員・給食・寮舎会議
３	水	ひな祭り　　津久井浜・三浦初声各高校卒業式
４	木	衣小評議員会　　運営会議
５	金	
６	土	
７	日	
８	月	
９	火	法人事務局会議
１０	水	
１１	木	衣笠、大矢部各中学校卒業式
１２	金	学園卒業卒園式　　卒園生を送る会　　武山養護学校卒業式
１３	土	三和こども園卒園式
１４	日	ホワイトディー
１５	月	
１６	火	大楠幼稚園卒園式　　各種委員会　　退職職員発表
１７	水	衣小給食終了　　運営会議
１８	木	リクエストメニュー
１９	金	衣小卒業式
２０	土	春分の日　　三和こども園発表会
２１	日	
２２	月	
２３	火	法人理事会　　大楠幼稚園終了
２４	水	
２５	木	各校終了式　　新任職員研修（ＯＴ）　　春光学園担当・ユニット発表
２６	金	各寮異動　　春休み ↓
２７	土	
２８	日	サッカー招待
２９	月	
３０	火	
３１	水	退職辞令

１６　研修

（１）園内研修実施状況

日時	研修テーマ	講師	参加者
5/12	新採用職員フォローアップ研修①	家庭支援専門相談員　片山	新採用職員
9/23	職員研修①「子ども間に起きる重篤な事故の予防と対応」	立正大学社会福祉学部 鈴木浩之准教授	学園職員
10/1	子ども医療センターコンサルテーション「S・K について」	子ども医療センター　庄 Dr	学童寮職員 他
10/5	新採用職員フォローアップ研修②	心理士　近藤	新採用職員
10/19	職員研修②「性暴力の予防的取り組み」	児童養護施設　一宮学園 副施設長　山口修平氏	学園職員
11/24	職員研修③「社会的養護を要する子どもの自立支援とキャリア・カウンセリング・プロジェクト」	北海道大学大学院　教育学研究員 井出智博准教授	学園職員
12/15	職員研修④ 「児童養護施設におけるキャリア教育」	ブリッジフォースマイル	学園職員
2/24	職員研修⑤「第三者評価・講評」	第三者評価機関	学園職員

（２）派遣研修実施状況

日時	研修テーマ	参加者	職種	場所
6/2	職業指導員連絡会	松村	職業指導員	あすなろサポートステーション
9/7	職業指導員連絡会	松村	職業指導員	小田原合同庁舎
10/16	職業指導員連絡会	松村	職業指導員	小田原合同庁舎
10/30 11/13	「新人研修」	阿部	保育士	県社会福祉会館
11/1	令和２年度里親制度研修講座 深めよう家族の絆＆こどもの居場所	野手	里親支援	衆議院議員第一議員会館 B1
11/13	職業指導員連絡会	松村	職業指導員	平塚合同庁舎
12/11	職業指導員連絡会	松村	職業指導員	小田原合同庁舎
1/6	中堅職員研修会	井上 田原 前川 大西	保育士 指導員 指導員 保育士	県社会福祉会館
1/7	中堅研修・チームリーダー専門研修会	井上 田原	保育士 指導員	県社会福祉会館

		前川 大西	指導員 保育士	
2/13	NPO 法人「神奈川 7 フォスターケアサポートプロジェクト」研修	野手	里親支援	zoom 研修
2/22	里親支援専門相談員対象研修・事例検討会	野手	里親支援	zoom 研修

（３）評価

ア　園内研修は新型コロナウィルス感染防止により中止したものが複数あったが、年度の後半は学園職員全員を対象とした研修を 5 回行うことが出来た。また昨年度に引き続き、新採用職員に対するフォローアップを含めた研修を 2 回行った。子ども医療センターのコンサルテーションでは 1 ケースについて検討を行った。

イ　外部研修については年度当初に定例の神児研研修を割り振ったが、新型コロナウィルス感染防止により新人研修以外全てがなくなったため不参加となった。その他の研修も多くが中止となり、今年度は必要最低限の研修派遣となった。

ウ　小規模グループケアを定着させていくため、神児研の施設間交流研修の制度を利用し、学童寮・幼児寮職員各 1 名の派遣を検討していたが、新型コロナウィルスの影響により中止した。

１７　ボランティアの受入状況

令和２年度は、新型コロナウィルス感染防止の観点から、ボランティア(個人・団体)の受け入れを制限させていただきました。ボランティアの皆様には、この趣旨をご理解いただきありがとうございました。なお、通常体制に戻りましたらご連絡をさせていただきます。多数のボランティアの方から子ども達に寄付をいただきましたことをご報告させていただきます。

１８　実習生受け入れ実績

大学名	人数	実習期間	オリエンテーション実施時期
横浜こども専門学校	2名	令和2年7月20日(月)～8月1日(土)	6月中旬
鎌倉女子大短期大学部	2名	令和2年8月3日(月)～8月15日(土)	7月上旬
東洋英和女学院大学	2名	令和2年8月17日(月)～8月29日(土)	7月中旬
横浜創英大学	1名	令和2年8月31日(月)～9月12日(土)	7月下旬
蒲田保育専門学校	2名	令和2年10月5日(月)～10月17日(土)	9月上旬
横浜女子短期大学	2 名	令和2年10月19日(月)～10月31 日(土)	9月中旬

東洋英和女学院大学	２名	令和2年11月2日(月)～11月14日(土)	10月中旬
横浜保育福祉専門学校	２名	令和2年11月30日(月)～12月11日(金)	10月下旬
横浜女子短期大学	２名	令和2年12月14日(月)～12月25日(金)	11月中旬
田園調布学園大学	2名	令和3年2月8日(月)～2月20日(土)	1月中旬
横浜高等教育専門学校	1名	令和3年2月22日(月)～3月4日(金)	1月下旬

令和２年度は、９校より２０名の実習生の受け入れを行った。
新型コロナウィルスによる緊急事態宣言等の影響があり、5月と6月前半に予定していた２校からの実習辞退と令和３年１月にも１校の実習辞退があった。
反面、コロナ禍で実習受け入れ施設が減少したことで、年度途中に2校より追加実習の依頼があり受け入れることとした。

注１　実習は、幼児寮と学童寮で受け入れを行う。
注２　実習の受け入れ窓口と調整は、里親支援専門相談員が担当する。
注３　実習オリエンテーションについて、実習開始日の１ケ月前に里親支援専門相談員が行う。
注４　実習については、当園が作成した「実習の手引き」を基本として実施する。
注５　勤務表は、寮の協力を得て作成し、実習の前日に配属寮の職員または里親支援専門相談員が配付する。

１９　食育・年間行事食・リクエストメニュー実施状況

（１）行事食の実施状況
食育委員会年間まとめ参照
（２）リクエストメニュー実施状況
①　リクエストメニューのオーダー

月別	オーダーする子ども達	月別	オーダーする子ども達
４月２３日	４月誕生者	１０月２２日	１０月誕生者
５月２１日	５月誕生者	１１月１９日	１１月誕生者
６月２５日	６月誕生者	１２月１７日	１２月誕生者
７月１６日	７月誕生者	１月２１日	１月誕生者
８月２７日	８月誕生者	２月１８日	２月誕生者
９月２４日	９月誕生者	３月１８日	３月誕生者

②　実施内容
リクエストメニュー実施計画書の通り実施した。コロナ感染予防のため食堂での食事は中止とし、各ユニットでの食事とした。少人数での食事となり、ゆったり落ち着いた雰囲気の中

食事をする事が出来て良かった。

（３）料理体験

コロナ感染予防のため、ユニット調理、料理体験は計画通りに実施することが出来なかったが、スイートポテト・大学芋作り、カップケーキ作り、チョコ作り、お好み焼き作りを少人数で実施した。

（４）食育ポスターの作成と掲示

献立表に栄養について一言コメントを載せ、各ユニットに掲示した。

食育新聞を食堂に掲示した。

２０　各委員会の年間の取り組み

（１）食育委員会年間の取り組み

＜目的＞

・食育委員会では、食を通じて子どもたちの健全な育成と自立を支援する活動を行っていく。

＜活動内容＞

・年５回の食育新聞の発行…春・夏・秋・冬各号

・流しそうめん大会･･･新型コロナウイルス感染防止のため中止

・餅つき大会…新型コロナウイルス感染防止のため中止

・野菜栽培…食育を目的とし、栽培の大変さを学ぶ

・料理体験の実施…新型コロナウイルスの影響がある中、何とか４回実施した。

・リクエストメニュー・行事食の実施

＜活動報告＞

＊年間行事

	行事名	行事食（含むおやつ・夜食）
4 月 6 日	入学式	串カツ・千キャベツ・トマト・ポテトサラダ・味噌汁
5 月 5 日	こどもの日	カツカレー・シーザーサラダ・かしわ餅
7 月 7 日	七夕	七夕そうめん・夏野菜天ぷら・桃
１０月１日	十五夜	栗ご飯・鮭のホイル焼き・筑前煮・チンゲン菜とかにかまの和え物・すまし汁・十五夜饅頭
11 月 15 日	七五三	赤飯・串カツ・千キャベツ・マカロニサラダ・味噌汁・千歳チョコレート
12 月	冬至	南瓜料理（南瓜煮物）
	クリスマス	フライドチキン・クリームライス・シーザーサラダ・クリスマスケーキ
	大晦日	にぎり寿司・年越しそば　いちご

1月1日	正月	雑煮・おせち料理
7日	七草	七草粥
11日	鏡開き	お汁粉
2月2日	節分	恵方巻・彩野菜のあっさり漬・豚汁・鬼打ち豆
14日	バレンタインデー	チョコレート
3月3日	ひな祭り	おひな太巻き・茶碗蒸し・菜の花お浸し・うしお汁・桜餅
14日	ホワイトデー	グミ

＊料理体験

10月10日	小中高生・女子	大学芋・スイートポテト作り
12月26日	小中高生・女子	カップケーキ作り
2月13日	小中高生・女子	チョコレート作り
2月18日	年少児	お好み焼き作り

＜年間計画＞

・食事マナー…継続して、全児童対象に食器の並べ方・正しい姿勢についてポスターを掲示し指導した。

・行事食、伝統行事を継承する。

（2）　性教育委員会年間の取り組み

①年間活動

日　付	内　　容
4月27日（月）	ア　昨年度の振り返り イ　子どもの生活の様子について情報共有 ウ　今年度の取り組み
5月26日（火）	ア　実践報告 イ　今後の実践内容について
6月18日（火）	ア　子どもの生活の様子、関心を抱いている性的話題や異性について情報共有 イ　今後の実践内容について
7月14日（火）	ア　男子寮で生じている暴言・暴力について情報共有 イ　今後の実践内容について
8月26日（水）	ア　子どもの生活の様子、性的な気になる発言について情報共有 イ　10月の研修内容について
9月23日（水）	ア　横須賀市児相と協力して性教育を行う内容を確認 イ　養育感の確認、気になる性的発言について情報共有 ウ　今後の実践内容について

10 月 19 日（月）	ア　横須賀市児相との打ち合わせ内容を情報共有 イ　今後の実践内容について
11 月 24 日（火）	ア　横須賀市児相との打ち合わせ内容を情報共有 イ　今後の実践内容について
12 月 15 日（火）	ア　1 月の性教育委員会が主催する園内研修の打ち合わせ イ　横須賀市との性教育の内容を最終確認
1 月 20 日（火）	ア　実践報告 イ　今後の実践内容について
2 月 24 日（水）	ア　実践報告 イ　安全マップを制作 ウ　今後の実践内容について
3 月 16 日（火）	ア　実践報告 イ　今年度の反省 ウ　来年度の取り組みの検討

②ハッピークラブについて

今年度は、新学期当初に新型コロナウィルス緊急事態宣言から学校が休校となり、異例の日々の中で生活を送ることが精一杯だった。毎年、学校のプールの授業前にプライベートゾーンを隠して着替える練習を行っているが、今年はプール授業がなくなったこともあり実施していない。

生活が落ち着いた秋頃、小学低学年女児より「赤ちゃんは股から生まれる」「汚い」と妊娠・出産への否定的な発言がみられ、自分の生を肯定的に捉えている様子が窺えた。そのため横須賀市児相と協力し、自分の生を肯定的に捉え、自分は大切な存在だと実感できるように妊娠・出産を中心とした性教育を実施した。子どもたちの理解度を知るために振り返りファイルを作り、職員からもコメントを記入している。また小学生男児で自己肯定感が低く、自暴自棄な発言や行動があった児童には園内で学園職員と個別に性教育を行った。妊娠・出産を通し、妊娠中はお腹の中で母親が育ててくれたこと、生まれてからは周りの大人が大事に育てたこと、妊娠・出産を経て誕生したあなたは尊いことをメッセージとして伝えた。

職員が、こども 110 番がある建物を調べ、『安全マップ』を制作し、学園門前の掲示板に掲示した。子どもたちが自分を大切にして守るための方法の 1 つとして、いざという時に逃げれる・助けてもらえる場所を知ることも必要と考え、実施した。

1 月 6 日（水）「ひとの身体を知ろう」対象：小学低学年女児（場所：横須賀市児相）
1 月 13 日（水）「赤ちゃんが産まれるまで」対象：小学低学園女児（場所：横須賀市児相）
1 月 20 日（水）「赤ちゃんが生まれる時」対象：小学低学年女児（場所：横須賀市児相）
1 月 27 日（水）「自分の身体の守り方」対象：小学低学年女児（場所：横須賀市児相）
2 月 3 日（水）「こころとからだのケア」対象：小学低学年女児（場所：横須賀市児相）

2 月 17 日（水）「いのちってスゴイ」対象：小学生男児（場所：春光学園）
2 月 22 日（月）「お腹の中の赤ちゃん」対象：小学生男児（場所：春光学園）
3 月 3 日（水）「生まれてくる赤ちゃんの力」対象：小学生男児（場所：春光学園）
3 月 8 日（月）「生まれてきてくれたあなた」対象：小学生男児（場所：春光学園）

（３）　行事委員会年間の取り組み

【季節の行事】

5 月

（鯉のぼり）

・荒天時以外は概ね毎日出す事が出来た。緊急事態宣言で外にでることができない子どもたちに少しでも例年通りに季節を感じてもらうために実施した。

・こいのぼりを結んでしまう児童がいた。

7 月

（七夕）

・今年も理事長より竹をいただき、園内にて七夕実施。子供たちと飾りを作成し、楽しめたのではないかと思う。

・商店街の七夕イベントは、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

（学園海水浴）

・新型コロナウイルス感染防止のため中止。

8 月

（学園流しそうめん・BBQ 大会）

・新型コロナウイルス感染防止のため中止。

（園内　水鉄砲射撃大会）

・大きい子は大きな水鉄砲で実施したらもっと楽しめた。

9 月

（輪投げ、ヨーヨー釣り大会）

・幼児、３F はお風呂場でヨーヨー釣りを行う。楽しく実施することができた。

・今後、流しそうめんの時に実施していく予定。

10 月

（ベースハロウィン）

・新型コロナウイルス感染防止のため中止。しかしながら、ＮＶＦＡＣ司令官夫妻が来園し、ハロウィンのお菓子を寄付していただき、子どもたちは大喜び。

（園内　ハロウィン）

・園内にてハロウィン実施。仮装をして自分のフロアと１F 事務所にお菓子をもらいに行く。１F 事務所に子供が集中してしまう。中高生もハロウィンを楽しめた様子。来年度も実施できればいいと思う。

12 月

（学園餅つき大会）

・新型コロナウイルス感染防止のため中止

・今後行うには感染リスクが高く、要検討。

1 月

（園内　マラソン大会）

・マラソン部顧問を中心に 10 月から練習を行う。馬堀海岸でのマラソン大会実施の予定であったが、緊急事態宣言発令のため中止。

2 月

（節分）

・年男年女関係なく、来年度も各フロアで実施予定。

（ピアノ発表会）

・来年度も同じように実施予定。

・前半幼児さんもたくさん参加できたらよいのでは？

3 月

（ひな祭り）

・幼児寮～雛人形を怖がる児童がいる。吊るしびな購入希望。

（卒園生お別れパーティー）

・新型コロナウイルス感染防止のため、食堂での実施は不可。リクエストメニューと同じように各フロアで実施。

【文体行事】

6 月　児童福祉施設卓球大会・・・新型コロナウイルス感染防止のため中止

8 月　児童福祉施設野球大会・・・新型コロナウイルス感染防止のため中止

8 月　児童福祉施設ソフトボール大会・・・新型コロナウイルス感染防止のため中止

8 月　児童福祉施設水泳大会・・・新型コロナウイルス感染防止のため中止

11 月　児童福祉施設駅伝大会・・・新型コロナウイルス感染防止のため中止

1 月　送別マラソン大会・・・新型コロナウイルス感染防止のため中止

2 月　あすなろ交換会・・・新型コロナウイルス感染防止のため中止

児童作品展・・・実施

・但し、新型コロナウイルス感染防止対策の為、見学なし。審査のみで実施。出展数は例年とほぼ変わらず、たくさん作品があった印象。学園は出展数が少なく、入賞作品（銅賞）も少なかった。文体行事なので学園全体で取り組んだほうが良いと思う。

（４）　広報委員会年間の取り組み

①年間分担

役割分担	担当	内容・備考
春のひかり発行	田原ｔ	年間三回発行
学園だより	大西ｔ	月一回発行
行事報告	井上ｔ	都度発行
連絡会記録	井上ｔ	記録チェックほか
写真発注、配布	西高	都度発行
年間計画、年間反省	西高	

②反省

・学園だよりはコロナの影響もあり、記事に苦しむ場面もあった。

・写真の回覧方法を変えて実施。いぜんより発注は楽になったが、回覧してくれない人は一定数居る。委員会で最終チェックを行なっている。⇒子どもにとっての写真の重要性の周知。

・年間計画、年間反省については配慮して頂き、うまく担当分をこなすことができた。来年も引き続きお願いしたい。

２１　避難訓練実施状況

実施予定日	出火想定場所	留意点
４月２３日	炊事場のバーナーの過熱による出火 消火班の説明 避難方法の説明	最初の訓練の為、子ども達がどの様に避難するかを見る。その後に消防活動編成の説明、避難方法･避難場所についての説明を行う。特に避難方法･避難場所については細かく指導を徹底させる。コロナ対策で各フロアー毎に避難場所を設定した。
５月２１日	学童寮３階白梅 LDK 天井の漏電による出火	避難誘導班の動きを重点にして行い、又、新たに消火班の動き（松果体性･消火器の使用方法）も重点に加え消火体制に入るまでの時間の短縮を図る。 コロナ対策で各フロアー毎に避難場所を設定した。
６月２５日	洗濯室よりの乾燥機の過熱による出火（総合訓練）	総合訓練の実施（含む消火器の使用訓練）。 園児･消防署への連絡。避難誘導班の動きを重点として行う又、連絡･避難時間の短縮を図る。その後に消火器使用訓練を実施する。
７月１６日	学童寮３階土筆 LDK よりアイロンの消し忘れによる出火	園児･消防署への連絡（明確な）･避難時の避難誘導班の動きを重点として行う。又、連絡･避難時間の短縮を図る
８月２７日	事務室天井の漏電による出火（夜間想定訓練）	夜間想定の為に職員が少ない中での避難誘導を重点に実施する。併せて消火班の動き（松果体性･消火器の使用方法）、消火体制に入るまでの時間の短縮を図る。
９月１７日	地震発生	地震時と火災時の避難方法の違いを園児に理解させ地震時の避難方法を徹底させる。又、地震時の避難場所の周知を徹底させる。
１０月２２日	学童寮２階春風 LDK よりアイロンの消し忘れによる出火（総合訓練）	園児･消防署への連絡（明確な）･避難時の避難誘導班の動きを重点として行う。又、連絡･避難時間の短縮を図る。
１１月１９日	会議室天井より漏電による出火（夜間想定訓練）	夜間ということで昼間よりも慎重に行動を取らせることを重点に行う。また、避難時における児童の態度（私語･ふざけ･走ること）も重視し併せて戸･窓の開閉状態もチャックする。
１２月１７日	１階食堂仏壇の火の不始末による出火	園児等の避難時の避難誘導班の動きを重点として行う。また、避難時間の短縮を図る。
１月２１日	学童寮２階明星 LDK 天井よりの漏電による出火	消火班の動き（消火体制･消火器の使用方法）も重点に、消火体制に入るまでの時間の短縮を図る。 コロナ対策で各フロアー毎に避難場所を設定した。
２月１８日	地震発生	地震時と火災時の避難方法の違いを園児に理解させ地震時の避難方法を徹底させる。又、地震時の避難場所の周知を徹底させる。コロナ対策で各フロアー毎に避難場所を設定した。
３月１８日	幼児寮 LDK の IH 調理器の漏電による出火。 （通報訓練）	園児･消防署への連絡（明確な）･避難時の避難誘導班の動きを重点として行う。又、連絡･避難時間の短縮を図る。 年度のまとめと、併せて来年度に向けての説明も行う。

２２　第三者評価

評価結果は別紙。

評価機関　公益社団法人神奈川県介護福祉会。